



Canon

キヤノントッキ株式会社

CORPORATE PROFILE

会社案内



より豊かな社会のために、 最先端技術を、もっと身近に。もっと 快適に。

キャノントッキは、最先端の有機ELディスプレイや電子デバイスを生産する、真空技術を応用した先進的な製造装置の開発・製造・販売・サポートを行っています。
私たちの製品は、より豊かな社会を実現するIoT (Internet of Things) 時代のものづくりを支えています。

業界スタンダードとして世界をリードする 高い技術レベルと確かな信頼性

スマートフォンやテレビなどへの普及が進んでいる有機ELディスプレイ。その将来性に注目し、世界でいち早く製造装置を開発したキャノントッキ。その後、技術革新と改良を重ね、量産技術を確立。長年にわたり、最先端の有機ELディスプレイを搭載したお客様の次世代製品のリリースと、商業生産に寄与してきました。

高い生産性と高品質を誇る量産装置は、その実績により高い技術レベルと確かな信頼性が評価され、いまや業界のスタンダードといえる圧倒的な地位を確立し、世界をリードしています。

“人の和”と“独自の技術”で社会に貢献する

キヤノントッキ株式会社

代表取締役副会長 代表取締役社長兼 COO
津上 晃寿 伊藤 博之

キヤノントッキの「トッキ」は“特機”、すなわち「特別な機械」を意味します。

当社は1967年の創業以来、常に変化する時代に挑戦し、社名に由来する「特別な機械」を提供してまいりました。現在は、真空技術を基盤とした製造装置において、お客様の声に真摯に向き合い、寄り添い、目的を達成し、ご要望以上の「特別な価値」を提供しています。

お陰様で、スマートフォンやテレビで急速に採用が進んでいる有機ELディスプレイ製造の分野において、確固たる地位を築くことができました。また、当社はキヤノングループの掲げる「共生」の企業理念のもと、社員とご家族はもとより、パートナー会社やお客様を含む、全ての人々と共に生きてまいります。

“人の和”と“独自の技術”で課題を解決し、事業を通じて成長し、ひいては社会に貢献する。そんな会社を目指していきます。皆様の温かいご理解と、ご支援をお願い申し上げます。



企業理念

私たちは、キヤノングループの企業理念である「共生」、および行動指針である「三自(自発・自治・自覚)の精神」のもと、以下を当社の企業理念といたします。

企業使命

優れた先進・独自技術で“特別な価値”を継続的に提供し、
より豊かな社会の実現に貢献します

当社の企業使命は、社名に象徴される創業精神を基本としています。キヤノントッキの「トッキ」は“特機”、すなわち「特別な機械」を意味します。当社は創業以来、常に変化する時代に挑戦し、お客様にとっての“特別な価値”を追求し、生産現場の生産性向上に寄与する先進的で高度な独自技術を付加した生産システムやサービス等の「特別な価値」を提供することで、産業の発展を通じ、より豊かな社会の実現を目指してまいりました。今後もキヤノングループ企業として、コンプライアンスを重視し、常に高い倫理観をもって企業使命の実現に努め、引き続きより豊かな社会の実現に貢献すると共に、企業および全社員の持続なる成長と繁栄をはかってまいります。

ビジョン

産業機器分野のリーディングカンパニー

～最も信頼・支持されるベストパートナーとしてあり続ける～

私たちは常に世界中のお客様に喜ばれる革新的な高付加価値製品を、世界最高の技術と品質、そして万全のサービス体制と共に提供し、お客様をはじめ当社を支える全ての人々から最も信頼・支持されるベストパートナーとして、共に新しい価値を創造し、持続的成長をはかる“産業機器分野のリーディングカンパニー”を目指します。

価値観・行動指針

1

積極進取

私たちは、常に変化する時代に挑戦し、積極的に課題と取り組みます

- 私たちは常に変化する時代を先取りし、未知なる課題や困難に、情熱と勇気をもって積極果敢に挑戦します。
- 私たちは時代と共に自らを“変革”し、更なる発展に向かって“進化”を続けます。

2

創意革新

私たちは、常に新しいアイデアを持ち、仕事に対して開拓と革新の意識で向上します

- 私たちは“技術追求”の精神で、自らの役割における技術・技能の弛まぬ練磨に努めます。
- 私たちは常に新しい発想と、開拓と革新の意識をもって仕事の質的向上をはかります。

3

誠実努力

私たちは、常に高い倫理観を持ち、仕事に対して誠実に取り組み、自己啓発に努力します

- 私たちは企業としての品格を重視し、常に“高い倫理観”と良識をもって、公明正大に行動します。
- 私たちは仕事に対して誠実に取り組み、当社に関わる全ての人々との信頼関係を築きます。
- 私たちは自己啓発を通じて自らの人格と能力を高めることに努め、自己の成長をはかります。

4

親和発展

私たちは、和の心を持ち、常に英知を結集し、社業の限らない発展と豊かな生活を築くよう努力します

- 私たちは“人間尊重”の精神をもち、個人の尊厳と異なる価値観を尊重します。
- 私たちは“和の心*”を持って常に英知を結集し、チームワークと総合力を発揮します。
- 私たちは社業を限りなく発展させ、物心共に豊かな生活および人生を築くよう努力します。

※和の心:互いに相手を尊敬し、協力し合う「親和」や「調和」などの「和」の心を意味する

有機EL製造装置

有機ELディスプレイを量産するための製造装置です。有機ELディスプレイを製造するには、有機薄膜が劣化しないように真空中で処理し、かつ大気に触れることなく接着・封止させる必要があります。さまざまな工程の重要パラメータを一括管理し、かつすべての工程を自動化することで、高い生産性を確立しています。

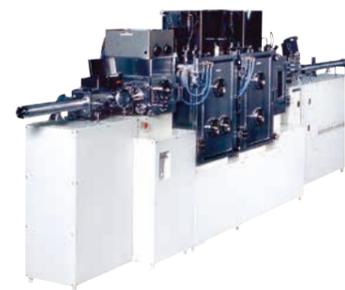


■ 有機ELディスプレイ量産装置 System-ELVESS

大量生産向けに開発された装置です。有機材料と陰極金属材料の蒸着成膜技術や、精密ロボット技術による全自動封止技術、フルカラーの画素製作に欠かせない高精度アライメント技術など、当社創業以来の技術を融合し、世界トップシェアを握る全自動量産システムです。



量産用装置「System-ELVESS」は、クラスタ中央の真空ロボットが蒸着室や封止室にガラス基板を順次搬送しながら、フルカラー有機ELパネルを完成させる全自動システムです。



■ 有機ELディスプレイ小中量生産装置 Small-ELVESS

有機ELディスプレイの基礎的な研究開発や少量生産に最適な装置です。O₂プラズマ洗浄から成膜・封止まで、すべての工程を一台で処理するため、大気に触れることなく高性能な有機ELデバイスが製作できます。また、再現性の高い研究試作により、量産移行までのパネル開発が効率よく行えます。

■ 有機ELディスプレイ試作実験装置 Try-ELVESS

有機ELの研究開発や材料開発に最適な装置です。O₂プラズマ洗浄室、有機発光層蒸着室、金属電極蒸着室、封止室等をコンパクトに一体化。蒸着成膜から封止まで、大気に触れることなく高品位な有機ELデバイスが試作できます。有機ELデバイスの基礎開発を効率よく行えます。

薄膜太陽電池製造装置

薄膜太陽電池のさまざまな成膜工程を一貫して行う装置です。長年培ったスパッタ技術や真空蒸着技術、大型ガラス基板搬送技術などの総合力で、インライン式またはクラスタ型の量産装置から研究開発用の小型装置まで、お客様のご要望に沿った装置を提供します。



真空関連装置

30年以上にわたる真空技術と装置ノウハウを活かして、さまざまな真空技術応用装置を製造・販売しています。光学部品向け蒸着装置、電子部品向け蒸着装置、スパッタリング装置など、使用目的に応じたラインナップを揃えています。



■ CVD装置

大型ガラス基板に対し、窒化ケイ素などの保護膜を成膜します。有機ELディスプレイ、LCD-TFT、半導体、太陽電池など、さまざまなアプリケーションに対応可能です。

■ 真空蒸着装置

生産現場においては定期的なメンテナンスや基盤交換の容易さ、研究室においては蒸着パラメーターの変更のしやすさなど、使いやすさを追求しました。



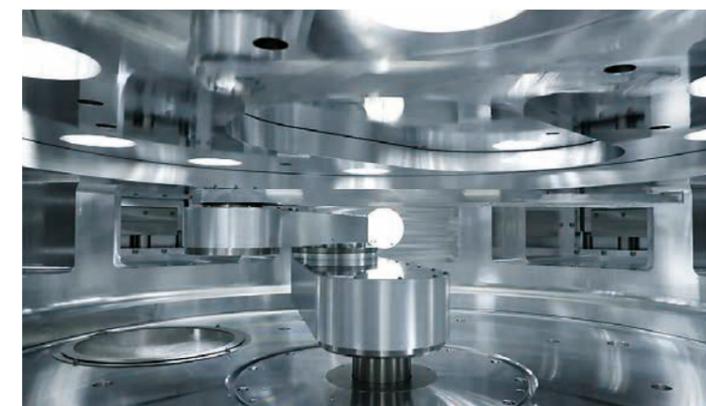
■ スパッタリング装置

水晶デバイスやチップ抵抗など、小型化する電子部品の量産に最適なスパッタリング装置です。



■ 熱処理関連装置

クリーンな真空排気系を持ち、温度安定性・温度分布に優れた熱処理装置です。推奨デバイスや各種電子デバイスの生産に用いられます。



技術の強み

高度な真空技術と、
高速・高精度で搬送する
ファクトリー
オートメーション技術



有機ELの量産製造工程

右の図は、フレキシブル有機ELパネルを真空蒸着方式で製作する工程の一例です。量産製造工程は、主にTFT回路をつくる「前工程」と、主に有機材料を成膜する「蒸着工程」、そして封止、切断、配線接続などの「後工程」の3つの工程に分かれています。

「蒸着工程」でガラス基板に発光層を付着させますが、高精細かつ高品質のパネルを製作するためには、様々な技術が必要となります。



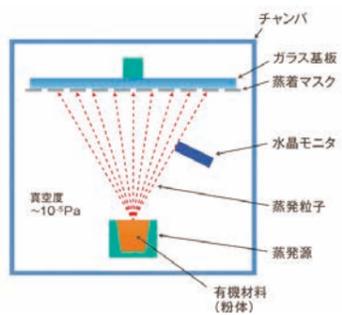
主な技術として、①内部が非常にクリーンで高真空な環境の真空容器を製作する技術、②ガラス基板を高速・高精度で搬送するFA(ファクトリーオートメーション)技術、③発光層がガラス基板に付着する位置を高精度で制御する成膜・アライメント技術などが挙げられます。これらの全てにおいて、当社には長年の装置開発による技術ノウハウの蓄積があります。そして、パネル量産装置を安定して提供してきた豊富な実績も有しています。

成膜技術

チャンバ内を10-5Pa程の高真空状態にして、有機材料を蒸発源に充填し300℃程度に加熱し蒸発させます。蒸発源から噴出した蒸発粒子は、直進性を保ったまま他の粒子にほぼ衝突せずにガラス基板に付着します。蒸発する粒子の速度(蒸着レート)は水晶モニタで検出し、一定になるよう制御し、所定の膜厚になったら蒸着を終了します。

RGBの発光色を得るには、ホスト材料に数%程度の微量な色素材料をドーピング(添加)します。これは2種類の有機材料を同時に蒸着させ、基板上で混合膜を形成するもので、共蒸着と呼ばれています。

そして最後に金属電極膜を形成します。この時用いられるのは銀やアルミニウムなどで、蒸発温度は有機材料と違い1,000℃以上の高温になります。

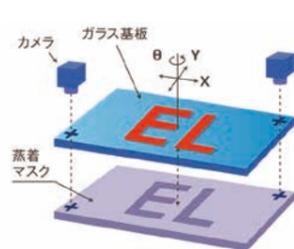


アライメント技術

有機ELの蒸着プロセスは「蒸着と同時にRGBのパターニングを行う」ことが特徴的です。

有機材料は成膜後にエッチングでパターニングができないため、蒸着しながら蒸着マスクを用いてパターニングします。その際、蒸着マスクとガラス基板との高精度な位置合わせを行う「アライメント」の技術が必要になります。アライメントは、蒸着マスクとガラス基板の位置情報をカメラで取得したのち、その両者の位置関係を高精度に制御して行います。

近年、スマートフォンやテレビは高精細化が進み、4Kや8Kの画質に進化していくために、当社はアライメント技術で貢献しています。



品質管理体制

信頼される製品作りを目指して

私たちは「技術追求」の精神で、自らの役割において弛まぬ技術・技能の錬磨に努め、常にお客様から信頼される製品づくりを目指します。

「顧客感動」が得られる品質を

継続的に追求・提供

私たちは外部ベンダーを含めた製品実現プロセスの全体最適を追求することにより、お客様に感動して頂ける高品質・高性能の製品を万全のサービス体制と共に継続的に追求・提供いたします。

当社の装置は装置納品後も長期間にわたって稼働し続けます。そのため、国内外でスペアパーツを維持・管理して、専門のスタッフによる定期点検や消耗部品の修理交換などを行っています。

常に品質の向上を追求

当社は納品後であっても品質の向上を追求するため、装置のアップグレードを承っています。技術の進歩により、装置納品時には実現できなかった仕様を実現できるケースがあります。

当社営業部門とサービス部門が連携し、お客様のニーズを把握した上で今できる最適な提案を行うことで、お客様は装置の品質をさらに高めることが可能です。

万全の品質管理

当社は、品質マネジメントの国際標準規格であるISO9001を2004年に取得しております。ISO基準に則り、工場の製造・技術スタッフで万全の品質管理を行います。

研究開発

当社の研究開発は、ビジョンにあるとおり「常に世界中のお客様に喜ばれる革新的な高付加価値製品を、世界最高の技術と品質そして万全のサービス体制と共に提供すること」を基本方針としております。変化の激しいエレクトロニクス業界において、常にお客様に喜ばれる製品・技術開発を重視し、日々研究開発に取り組んでおります。



サポート体制

装置納品後も高品質を保つべく、国内外の各地に万全のサポート体制を整えています。海外拠点においてはキャノングループのネットワークを活用し、トラブル時にも専門スタッフが迅速に対応し、定期点検や修理等のご要望にもきめ細かいサポートを提供いたします。



福利厚生

社員の皆さんの働きやすい職場環境とプライベートの充実に向けた、さまざまな制度をご用意しています。

休日

週休2日制(土曜日・日曜日、年に数回土曜日出勤日あり)、祝日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季ほか(年間休日123日)

休暇

年次有給休暇(最大40日)、傷病積立休暇(最大40日)、忌引・結婚休暇、永年勤続特別休暇、その他

結婚・出産

女性社員の産前・産後休暇、育児休暇取得率は100%です。

復帰後も短時間勤務など育児と仕事両立できるように配慮しています。



保養所

社員とその家族が保養のためにキャノングループの保養所を利用できます。

財産形成

企業年金(確定拠出年金)、従業員持株会(キャノン株式会社の株式購入)、財形貯蓄

職場環境

社員食堂や、休憩室などを完備した、クリーンで先進的な社屋です。



CSR活動

社会とともに発展していくために、キャノントッキはCSR活動に積極的に取り組んでいます。



工場見学会の開催

当社は、随時工場の見学会を実施しています。パネルメーカー様との守秘義務契約があり、細部まではご覧いただけませんが、当社の事業に対する理解促進と認知向上が図られています。



見附今町・長岡中之島 大凧合戦に協賛

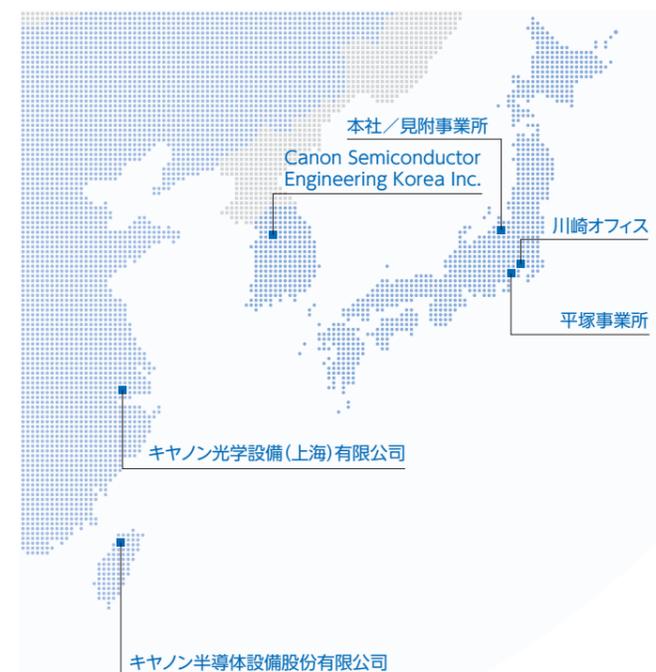
毎年6月に刈谷田川堤防上で行われる、360年以上の歴史を持つ伝統行事に協賛しています。武者絵や美人画などの描かれた大凧の大きさは畳8枚分。毎年制作し、普段はエントランスに飾っていますが、本番では大空を舞い、地域の祭りを盛り上げます。



地域清掃活動に参加

見附市が主催する地域清掃活動に参加しています。地域にお住まいの方とともに本社/見附事業所周辺の清掃を行い、環境の美化に努めています。これからも定期的に地域清掃活動に参加してまいります。

事業所



国内拠点

■本社/見附事業所

〒954-0076 新潟県見附市新幸町10番1号
TEL:0258-61-5050(大代表)

■川崎オフィス

〒211-0053 神奈川県川崎市中原区上小田中七丁目5番27号
TEL:044-738-3650(代表)

■平塚事業所

〒254-0012 神奈川県平塚市大神3072番地
TEL:0463-53-8880

海外グループ会社拠点

■韓国 Canon Semiconductor Engineering Korea Inc.

607, Teheran-ro, Gangnam-gu, Seoul, Korea
TEL:+82-2-6445-0013

■中国 キャノン光学設備(上海)有限公司

200020 中華人民共和国上海市南昌路45号城匯大廈18階
TEL:+86-21-2316-3200

■台湾 キャノン半導体設備股份有限公司

新竹市東區埔頂里埔頂路25號9樓之1
TEL:+886-3-579-7080

会社概要

【会社概要】

社名	キャノントッキ株式会社 (Canon Tokki Corporation)
設立	1967年7月29日
親会社	キャノン株式会社
資本金	6,572百万円
決算期	12月
従業員数	689名(2021年12月31日現在)

【役員一覧】

取締役会長兼CEO	武石 洋明
代表取締役副会長	津上 晃寿
代表取締役社長兼COO	伊藤 博之
専務取締役兼CFO	後藤 浩
取締役	小川 光雄
監査役	横山 晃彦
監査役	飯田 浩平

【沿革】

1967年7月

『津上特機株式会社』を東京都港区新橋に資本金100万円で創立。工作機械、自動化機械の販売を開始。

1972年7月

『株式会社長岡プレジジョン』を新潟県長岡市に設立。FAシステム、周辺機器、治工具の設計・製作を開始。

1982年4月

『津上ロボティックス株式会社』を神奈川県横浜市に設立。

1983年7月

真空成膜装置メーカーの『株式会社ユーピーアル』に資本参加。真空薄膜の新分野に進出。

1986年1月

津上特機・長岡プレジジョン・津上ロボティックス・ユーピーアルの関連4社を統合して、商号を『トッキ株式会社』に名称変更。新会社として発足。

2003年4月

『見附工場』を新潟県見附市の新潟県中部産業団地に新築完成。

2007年12月

キャノン株式会社との資本業務提携により、キャノングループの一員となる。

2010年10月

株式交換によりキャノン株式会社の完全子会社となる。

2012年1月

キャノントッキ株式会社に名称を変更。

本社／見附事業所 〒954-0076 新潟県見附市新幸町10番1号 TEL:0258-61-5050

平塚事業所 〒254-0012 神奈川県平塚市大神3072番地 TEL:0463-53-8880

川崎オフィス 〒211-0053 神奈川県川崎市中原区上小田中七丁目5番27号 TEL:044-738-3650

<https://tokki.canon/>



この印刷物は環境にやさしい
米ぬか油を使用した
ライスインキで印刷しています。